

令和3年度 文部科学省委託事業
「幼稚園教諭の人材確保・
キャリアアップ支援事業」報告

公益社団法人名古屋市私立幼稚園協会

幼稚園の人材確保支援事業 事業結果報告書

調査研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園教諭の離職防止・定着促進 ・ 新規採用の促進 ・ 各主体の連携促進（養成の充実） 			
申請者 (機関名)	公益社団法人 名古屋市私立幼稚園協会			
申請機関 代表者	氏名	河村 暁		
	所属部署	—	職名	会長
	所在地	名古屋市中央区錦3丁目11番13号 名古屋ガーデンパレス4階		
実施期間	令和3年 5月24日 から 令和4年 3月31日まで			

I 調査研究の要旨

1 本事業の目的

本事業は、養成校志願者の全体的な増加に向けた効果的な取組ならびに幼稚園教諭等としての就職を円滑に促進するために十分な職場理解の機会を提供する等、募集・採用時のミスマッチを解消するための効果的な取組について、養成校等と共に実践し探究することを目的とした。

2 各調査研究の計画

①幼稚園教諭等の離職防止・定着促進

○卒後の学びを保障する本協会主催の教員研修ツリーの充実

- ・ 研修参加者が在籍時に学んだ養成校教員を講師陣として招き、中堅となった教員がそれぞれの学びを振り返ることで今後の質探究への道筋を見通すために「5年目研修」を創設する。

○教員向け相談窓口の創設

- ・ 「一人で抱え込まないで」を合言葉に、会員園の教員を対象とする教育相談窓口を創設する。

②新規採用の促進

○募集・採用時のミスマッチ解消

- ・ 会員園への就職や採用情報等を提供する「就職フェスタ」ならびに保育活動の実際を感じてやりがいを共有する機会である「幼稚園・こども園フェスタ」を、それぞれ開催する。

○会員園の採用状況等の広報・周知

- ・ 諸事業の実施時期を見通して、本協会HPにアクセスできるQRコードを記載したクリアファイルを協会の事業概要資料と共に名古屋市近郊の養成校に持参または郵送し、学生への配布ならびに広報・周知を依頼する。

③各主体の連携促進

○保育講義・実習体験事業

- ・ 養成校進学希望者に幼児教育の魅力を実感できる事業として、高校生が夏休みを利用して養成校での講義や会員園での保育に参加する「なごやドリームプログラム」を実施する。

○教育実習ウォームアップ

- ・ 一層の充実感を感じられるような「生きた教育実習」の実現に向けて、養成校の学生が安心して取り組むことができるよう「現職教員による講演会」に講師等として参加する。

④その他

○本協会HPの機能強化

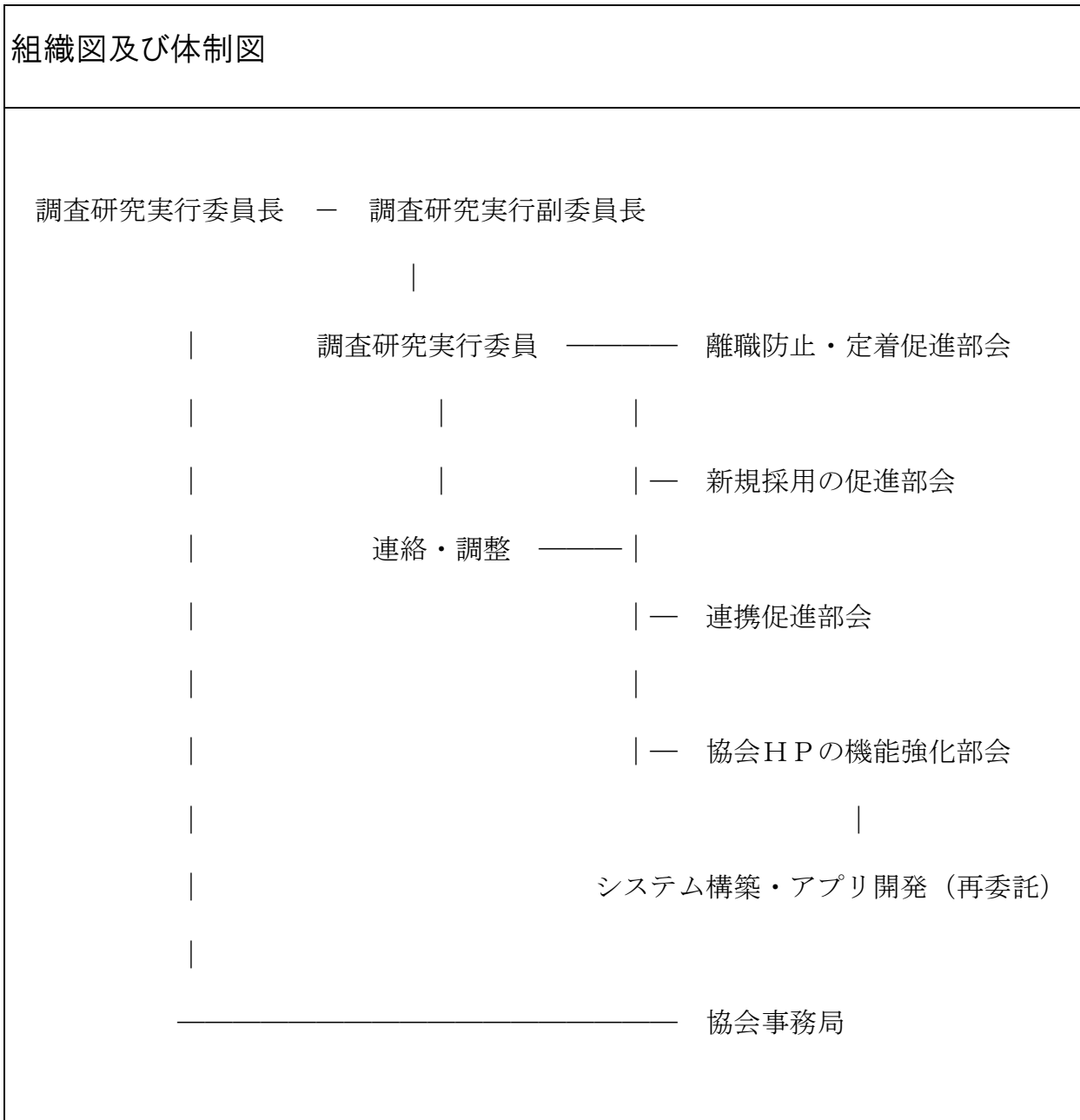
- ・ システム構築・アプリ開発については再委託とし、スマートフォン向けアプリの開発、現行HPの内容拡充ならびに会員園ページの内容拡充に取り組む。

○ 調査研究の組織について

調査研究実行委員会 の代表者氏名	河 村 暁		
実行委員氏名	所属機関 所属・職名	具体的な役割分担	従事期間
上田 敏丈	名古屋市立大学 大学院 教授	連携促進	事業開始～ 令和4年3月 31日
大澤 弘毅	学校法人 柳城学院 法人事務局次長	連携促進	〃
齋藤 善郎	椋山女学園大学 教授	連携促進	〃
清 葉子	椋山女学園大学 准教授	連携促進	〃
河村 暁	うぐいす幼稚園 園長	実行委員長	〃
齊藤 公彦	ひまわり幼稚園 理事長	実行副委員長	〃
笹野 大栄	富士文化幼稚園 園長	実行副委員長	〃
伊藤 直	幅下幼稚園 園長	各役割の連絡調整	〃
小川 由里江	呉竹幼稚園 園長	離職防止・定着促進	〃
折戸 弘子	葵第一幼稚園 園長	新規採用の促進	〃
鎌田 隆光	道徳和光幼稚園 園長	連携促進	〃
児玉 れい子	喜多山幼稚園 主任	新規採用の促進	〃
近藤 康人	しらさぎ幼稚園 園長	新規採用の促進	〃
舎人 きぬ	天満幼稚園 園長	協会HPの機能強化	〃

水野 英子	聖心幼稚園 園長	離職防止・定着促進	〃
若松 元知	小碓幼稚園 園長	協会HPの機能強化	〃

研究協力団体名
名古屋市立大学・名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学・椙山女学園大学
名古屋市教育委員会



Ⅱ 調査研究の内容、成果と課題

1 幼稚園教諭の離職防止・定着促進

卒後の学びを保障する本協会主催の教員研修ツリーの充実に
向けて

「5年目研修」を創設して受講者が在籍した養成校の教員に講師やグループワークのアドバイザーとして参加を依頼し、令和3年7月10日（土）にウィルあいちにて開催した。

- ・全体研修講師：上田敏丈氏（名古屋市立大学教授）
- ・アドバイザー：荻原はるみ氏（名古屋柳城女子大学教授）
青山裕美氏（名古屋短期大学准教授）
日比野直子氏（金城学院大学准教授）
- ・受講者数 : 20名

養成校の教員と共に参加者それぞれが現状までの成長を認め合うとともに、現状における課題発見や解決への気づきの機会となった。

また、各園における実際の取組に刺激を受け合うことを通して、それぞれがさらなる専門性獲得や質探究への意欲を高める機会となった。

今後の課題については、研修参加者の出身養成校教員の参加を広く実現するためには、何よりも本研修を継続して実施することが必要であると考え。それには、本研修の開催時期の周知はもとより、その意義や成果、実績等について広く共有することと、加えて、中堅教諭の派遣に係る代替教員の確保等、会員園における早急な研修参加に向けての支援や条件整備が必須であると考え。

教員向け相談事業の創設

本協会が従来から保護者向けに実施している子育て相談事業の枠組みを活用して、会員園の教員を対象とした大学教員や心理職等の専門家による教育相談事業を創設した。

- ・相談員　：吉村智恵子氏（名古屋女子大学教授）
桐山雅子氏（中部大学名誉教授）

- ・相談件数：2件

幼児や幼児をもつ保護者の理解、またはその対応等の専門家である相談員に、保護者対応で困ったり、悩んだりしていることを相談できたことで、相談した教員が抱いていた保護者対応への不安や精神的な負担を和らげることができた。

今後の課題については、一般の教員に対して、この事業の周知をさらに図るとともに気軽に申し込みができるようにするために、周知方法や申し込み方法を工夫していく必要がある。

2 新規採用の促進

募集・採用時のミスマッチ解消

本協会の会員園への就職や募集状況を提供する「就職フェスタ」を令和3年7月11日（日）にウィンクあいちにて開催した。

- ・参加者： 125名　協力会員園：43園

学生がブースで分かれた様々な幼稚園・こども園の様子を聞くことで、幼稚園・こども園への就職も視野に入り、学生が就職に向けて具体的な行動を考える機会となった。

また、園での保育内容を実際に経験したり、保育のやりがいを共有したりする機会として「幼稚園・こども園フェスタ」

を令和4年3月13日（日）に名古屋ガーデンパレスにて開催した。

- ・参加者：53名　協力会員園：13園



幼稚園について説明する先生たち

1	ひまわり幼稚園	光る泥団子作り等
2	聖心幼稚園	モンテッソーリ教育に関連した題材からの制作
3	うくいず幼稚園	作って遊べる製作
4	国風第一幼稚園	手形スタンプアート新聞紙シアター
5	道徳和光幼稚園	チャレンジ！えほんをうたおう、えほんをあそぼう！！
6	喜多山幼稚園	玩具作り
7	幅下幼稚園	つくってあそぼう
8	慶和幼稚園	iPadを使った教育活動（ICT教育）
9	東貴船幼稚園	絵本の紹介、読み聞かせ・手遊び・折り紙遊び・伝承遊び・マジックショーなど
10	天道幼稚園	園内で行った「お店屋さんごっこ」の品物の作製
11	富士文化幼稚園	コマ作り

参加園は学生と話すことで、学生の考えを知ることができ、また園の幼児教育に対する思いを伝えることができる機会となった。

今後の課題としては、多くの学生が参加することで、募集や採用時のミスマッチを解消できると考える。学生と幼稚園・こども園にとって思いを共有できる機会として継続しながら、定着したフェスタになる事で、より多くの学生が参加することに繋がるのではないかと考える。



園での教育活動について説明する先生

会員園の採用状況等の広報・周知

当協会の諸事業の広報・周知に向けて、本協会HPにアクセスできるQRコードを記載したクリアファイルを、協会の事業概要資料と共に名古屋市内ならびに近郊の養成校に持参または郵送し、就学者への配布を依頼した。

- ・資料配布回数　：2回
- ・資料配布養成校：延べ58校
- ・配布部数　　：延べ2,120組

配布したクリアファイルに本協会HPにアクセスできるQRコードを記載して学生が協会や会員園の情報にアプローチにできる流れを整えておいたことは、刻々と変化する新型コロナウイルス感染症の感染状況における事業開催の見通しについて直接確認がで

きる等、大きな成果があったと考える。

今後の課題としては、愛知県下には養成校団体と幼児教育ならびに教育関係の団体とが協議した就職関係の諸協定があるが、団体としては加盟していない本協会の事業の実施までの諸協定の拘束を受けることは著しく合理性を欠くと考えているところである。養成重視の視点から、学生の心情に寄り添うべく、慣行に囚われずに合理的な判断を重ねていきたい。



協会で作成したクリアファイル

3 各主体の連携促進

保育講義・実習体験事業

養成校進学希望者に幼児教育の魅力とやりがいを実感できる事業として、高校生が夏休みを利用して一日目に保育における絵本の活用に関する講義を受講した後、講義の内容を生かした読み語り活動を二日目の実習において体験して、養成校の教員や現場の保育実践者と実習体験の振り返りを実施するという「なごやドリームプログラム」を実施した。

当初は、8月23日（月）～31日（火）の期間中に5クールの実施予定であったが、政府による緊急事態宣言の発出により、第3クール以降の計画については残念ながら中止とした。

- ・参加予定生徒数31名、受入予定園数延14園（5クールの実施の場合）
- ・第1クール（令和3年8月23日（月）・24日（火））

保育授業体験担当：村田康常氏（名古屋柳城大学教授）

実習体験担当：名古屋柳城短期大学附属柳城幼稚園

受講者数：1名

・第2クール（令和3年8月24日（火）・25日（水））

保育授業体験担当：柴田智世氏（名古屋柳城大学准教授）

実習体験担当：名古屋柳城短期大学附属柳城幼稚園、幅下幼稚園、呉竹幼稚園

受講者数：6名

参加者のアンケートの回答（抜粋）

○1回目の保育授業について、初めて学んだこと、読み聞かせで難しいと思ったことは何ですか。

・ただ、読み聞かせをするだけではなく、子ども達によるこんでもらえる為に見やすくしたり、読む速さに注意したりと色々な事を教えてもらった。ページをめくるときの指づかいが少し難しかった。

○2日目の実習体験で努力したことは何ですか。

・皆とコミュニケーションをとれるようにしようと思いました。読み聞かせの時は、皆の反応を見て、読み方に抑揚をつけたり、感情をつけたり、「これ〇〇だね」とか話しかけたりしてみました。皆が楽しかったと言ってくれたので、やってみて良かったのかなと思いました。

○このプログラムについての感想を書いてください。

・一人で大人数の相手をするのはすごく大変で、平等に接することを意識しながら活動しました。今回このプログラムに参加して、保育の仕事の大変さ、やりがいを見つけられて良かったです。

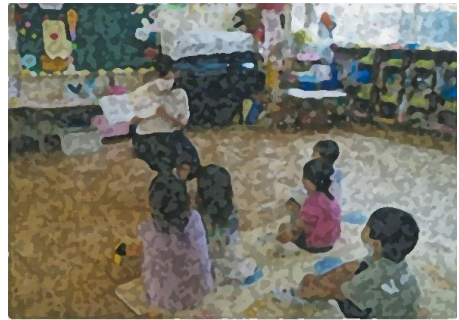
○幼稚園・こども園の先生のお仕事にどんなイメージを持っていますか。

・子どもたちから笑顔をもらったり、成長を見ることが出来る楽しい仕事だなと思う面もあるし、みんながみんな言うことを聞いてあげるわけでもないの、まとめなければいけないので大変な面もあると思う。

参加した高校生のアンケートの中の、「このプログラムに参加して幼稚園・こども園の先生に対しての関心は高くなりましたか。」という設問の回答については、全員から、幼

稚園教諭・保育教諭への関心がさらに高まったとの回答を得た。

高校側からは、大学での授業を体験できること、保育現場での実習体験ができることはもとより、キャリア教育や進路指導の観点からも本プログラムに賛同していただき、生徒への参加への呼びかけをしていただいた。途中中止となってしまったが、その際にも、致し方ないが大変残念との声をいただいた。参加できなかった生徒からも同様の声ももらった。



実習体験をする高校生

また、今後の生徒指導に生かしたいとのことで高校の進路指導教諭から園での活動の様子を見学したい旨の申し出を受け、受け入れ園との取り計らいを行った。実際には途中中止で実現しなかったものの、高校側のプログラムへの強い関心が感じられた。

今後の課題については、高校生・高校教諭と幼稚園・こども園とを養成校が結ぶことで人材育成・確保につなげる活動は、三者にとって大変有意義な取組であったと評価したい。

しかしながら、事業を進めるための連絡や調整、特に今回の途中中止の判断や連絡等が求められたような場面においては、三者間の価値観の共有や信頼関係の構築が大変重要であるということを感じた。

については、有意義な取組を継続するだけでなく広げ深めていくためには、予算的な裏付けはもとより、自己利益のみに拘泥しない広い視野からの取組みをどのように進めていくかの追究が必須であると考えている。

教育実習ウォームアップ

☆「教職実践演習」講演会・交流会 ☆

相山女学園大学において開講されている「教職実践演習」の講演会・交流会において、本協会の会員ならびに会員園に就職した卒業生が講師として参加し、就職に向けての心構えや保育職としての経験や学びの積み上げの道筋を示した。

- ・日 時：令和3年11月6日（土）
- ・講 師：齊藤公彦氏（学校法人荻須学園理事長）
佐々楓氏（ひまわり幼稚園教諭）、岡田結以子氏（ひまわり幼稚園教諭）他
- ・受講者：90名（オンライン参加）

講演会においては、私立幼稚園における保育職として、実践やその経験や学びの積み上げについての取り組みの実例を会員から紹介した。

私立幼稚園に就職した卒業生からのメッセージとして、私立幼稚園教諭ならではのやりがいや楽しさについて伝えられた。そして、交流会での学生からの質問等には、就職後の仕事に期待が持てるような内容を紹介したり、励ましたりした内容の回答があった。

今後の課題について、当日はリモート開催となり、参加者と直接のやりとりができなかったことが残念であった。情報提供等には支障を感じなかったものの、参加者それぞれの反応をきめ細かく受け止めながら一人ひとりの気づきを深めていくことについて、十分なかかわり合いが持てたかどうかには課題が残ったと考える。

4 その他

本協会HPの機能強化

令和3年6月2日（水）開催の運営委員会において、中高生向けと養成校学生向けのHP掲載情報について検討するとともに、情報提供や情報発信に向けて会員園への協力依頼事項について検討した。

スマートフォン向けアプリの開発については、同日、仕様等について検討し、6月16日（水）よりアプリデモを稼働した。再委託先と機能の実装等について打ち合わせ、iPhone版アプリについては6月29日（火）、android版アプリについては7月5日（月）にそれぞれ審査通過、本格稼働となった。

そして、作業の進捗状況の確認と検討事項についての打ち合わせを行うため、協会HPの機能強化部会を6月23日（水）、7月10日（土）に開催した。

<スマートフォン向けアプリで開発した内容>

○ アプリデザイン

中高校生や養成校の学生にとって親しみやすいデザインにした。

また、各園の情報を見付けやすくするとともに。学生たちが直接メッセージを送ることができるようにした。



○ アプリ管理者用マニュアル

会員園が自園の情報を充実させる手順を、分かりやすく説明したアプリ管理者用マニュアルを作成した。



デザインを改良したアプリ

○ 会員園向けシステムの機能アップデート概要

会員園向けシステムの新機能「自園情報の編集」の利用方法について、まず、再委託先の業者より協会担当者に説明があった。そして、事務局より、会員園に「自園情報の編集」の利用方法について、お知らせした。

名古屋市私立幼稚園協会アプリおよびホームページの会員園向け新機能「自園情報の編集」のご利用方法
2021年9月15日

1. 概要
名古屋市私立幼稚園協会の会員園向けシステムの「自園情報の編集」機能のご利用方法についてご説明いたします。
この機能を利用することで、スマートフォン用アプリやホームページに記載されている自園の情報を編集できるようになります。
なお、対象のスマートフォンアプリのバージョンは
・ iPhone向けアプリ: Ver1.0.2
・ Android向けアプリ: Ver1.0.2
となっております。以前のバージョンをご利用の方はアップデートをお願いいたします。

2. 編集可能な情報
編集可能な自園の情報は下記のとおりです。
・ TEL・FAXの番号
・ 郵便番号・住所
・ 自園のホームページのアドレス
・ 協会ホームページ・アプリからのお問い合わせの可否
・ 求人情報
・ アプリ上で表示される簡単な紹介文(100文字まで)
・ アプリに掲載する自園の写真
・ アプリに掲載するお知らせの記事

協会より会員園にお知らせした「自園情報の編集」機能

・7月11日（日）実施の「就職フェスタ」にて登録チラシを配布した。その際、111名の学生登録者を獲得した。



配付した登録チラシ

今後の予定だが、採用試験対策機能のテスト版を設置し、現在、問題を収集中である。問題を収集した後、アプリに実装する予定である。



採用試験対策機能のテスト版の一例

Ⅲ 本事業の成果ならびに今後の課題

本事業は我々が過去に経験したことがないような社会的事象が次々に生起する中での実施となり、感染拡大防止に対応するための日程や会場等の変更、その連絡や再計画等、事務的な負担は決して小さくはなかった。しかし、事業に参加した高校生の笑顔や大学生の熱心な受講姿勢、久しぶりに再会した教え子の成長に目を細める養成校教員の表情等に接するに、いつ落ち着くとも知れない『コロナ禍』と称される状況の中でも子どもたちや若者は、「その育ちや学びを一日たりとも蔑ろにはしない」という大人の心持ちや行動についてはしっかり受け止めてくれていることを確信し、今回このような機会をいただけたことに感謝の念を新たにした次第である。

さて、本事業は養成校志願者の全体的な増加に向けた効果的な取組ならびに幼稚園教諭等としての就職を円滑に促進するための効果的な取組について、養成校等と共に実践し探究することを目的として取り組んだものであるが、幼稚園・こども園における人材確保事業に関しては、

- 1) 養成校への進学を希望する児童生徒ならびにその進学指導やキャリア支援を担当する学校関係者・それぞれの理念に則って実際の教員養成を担当する養成校・幼児教育の実践の場たる幼稚園やこども園という三者が、幼児期の本質的なありようから導出された望ましい幼児期の教育とその重要性をそれぞれが適切に認識していることが重要である。
- 2) 諸事業を意味あるものとするためには、その相互理解を基礎としながら、それぞれの短期的な自己利益の追求を超えて「次代を担う若者の育ちを支えるとともに、若者が希望を持てる社会を実現する」というような、より広い文脈への位置づけが不可欠であるという認識に協力校と共通理解に至ったこと、このことこそが本事業における最も大きな成果であると考えらる。

今後は、短期的に成果を見出すことができる事業の立案・実施に偏ることなく、長期的な取組を継続していくために必要な基本的な理念を行政とも協働しながら構築すること、そしてその構築された理念の絶えざる再構築を怠らないということが大きな課題となると考える。

本協会としては令和3年12月、幼児教育・保育を所管する名古屋市教育委員会教育長

ならびに名古屋市子ども青少年局長宛てに『名古屋のすべての子どもたちの育ちを支える『あらたな物語り』を求めて』として、名古屋における幼児教育の理念を明確化した上で「質向上を超えて質探究へ」という、行政・養成校・幼児教育関係者の三者が協働して質探究のコミュニティ構築を構築したいとする要望書を提出したところであり、本事業への取組において得た成果に基づいて、今回見合わせざるを得なかった事業実施を再計画するとともに、より広い視座から新たに見出された課題にも積極的に取り組むことで、さらなる知見を得たいと考えているところである。